

# 南上小に8人の新入生

## 南上保育所、最後の卒園生が入学



新入生(中央8人)への教科書の授与

おめでとう

ソメイヨシノが淡く色づき、柔らかな日差しが降り注いだ4月5日。南伊豆町立南上小学校にて入学式が行われました。この24年度から南上小に仲間入りしたのは8人(女5、男3)。3月に閉園となったお隣の南上保育所の最後の卒園生です。来賓や先生、在校生らに見守られ、期待と不安を織り交ぜた面持ち

### 創刊のお知らせ!!

南伊豆の山あいなたたずむ南上から、ローカルな話題を月に一度お届けする『南上新聞』。この集落に関する素朴な出来事をのんびりお伝えします。日々の暮らしのちょっとした息抜きになれば幸いです。

# 南上新聞

月刊みなみかみしんぶん

南伊豆から笑顔をお届け

祝! 創刊号

平成24年 4月【卯月】

南伊豆を世界に発信する南上新聞 広告主を募集します! 1マス2,000円より。 詳細は下記までお問合せを info@kamiyashiki.com 080-2161-1940



毛倉野 山本邸(横山)

蔵し

kurashi

写真/岩間史郎

### 聖バレンタインデーに 二組の夫婦が誕生!!

欧米の各地では「愛を誓う日」として親しまれている2月14日のバレンタインデー。ここ南上においても、この記念すべき日に二組のカップルが永遠の愛を誓い合いました。



日野の菜の花畑にて(鈴木ご夫妻)

世代を超えて南上に帰ってきたUターン婚 出合いは小学生の頃、お父さんの勤務先の静岡市で、という佐藤豪芳さん、寛子さんご夫妻。互いに引越してから、再会したのはおよそ20年後の南上。これも父方の出身地が蛇石と市之瀬というご縁。世代を超えて南上に帰ってきました。新郎は就農して9年目の柑橘農家。濃厚な味わいのデコポンが評判で、リピーターからの注文が殺到する美味しさです。「みなさんあたたかい」と新婦もお気に入りの蛇石地区で、「にぎやかな家庭」を築くべく、新生活をスタートさせています。

5年越しの恋を実らせ 2月14日の大安に入籍 同じくバレンタインデーに入籍したもう一組のご夫婦は、市

人がたくさん集まると、蔵もにぎやかになる。普段は母屋を見守るように鎮座しているけれど、人がたくさん集まると、蔵が慌ただしくなる。母屋を広くするため建具をしまい、代わりに客用の茶碗や御膳を出したり。かつてはお祝いも法事もすべて家で執り行われ、そんなもてなしを蔵が可能にしてきた。蔵が蔵らしく活躍していた時代のこと。「蔵の思い出は冠婚葬祭の思い出ね」と昔を懐かしむ歌子さん。差し掛け屋根という2段構えの構造が特徴的で、防火性に優れたナマコ壁も健在。近頃は家で催事を行なうことも稀になり、蔵にかつての慌ただしさはなくなった。それでも「なかなか物が捨てられなくて。何でもしまっちゃうの」と、いまでも蔵との緊密な関係は続いている。



蔵のある暮らし